

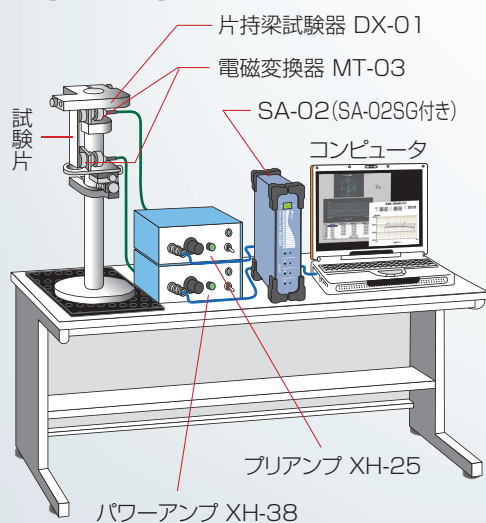
損失係数測定システム

制振鋼板・制振合金・プラスチック・ゴム・アスファルトなどの制振材料は、自動車・家電製品・OA機器など多くの分野で使用され、騒音・振動の低減に効果を上げています。

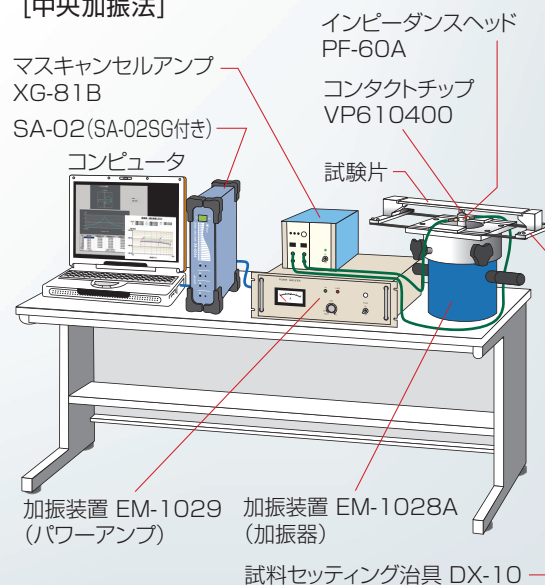
本システムは、多チャンネル分析処理器 SA-02 を使用し、メニューの簡単操作で片持梁法または中央加振法により周波数応答関数を測定します。その共振特性から半値幅法により制振材料の損失係数 η 、ヤング率 E (またはせん断弾性係数 G) を求めます。測定結果は、ナイキスト線図と周波数応答関数の二重モニタ機能で分析の妥当性を確認できます。また、恒温槽の自動制御により、試験片の各温度の測定が自動で行えます。

システム図

[片持梁法]



[中央加振法]



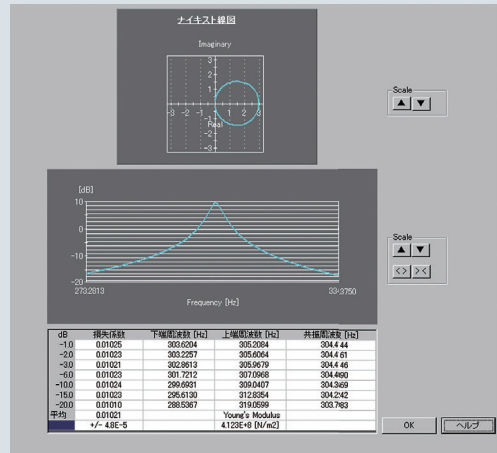
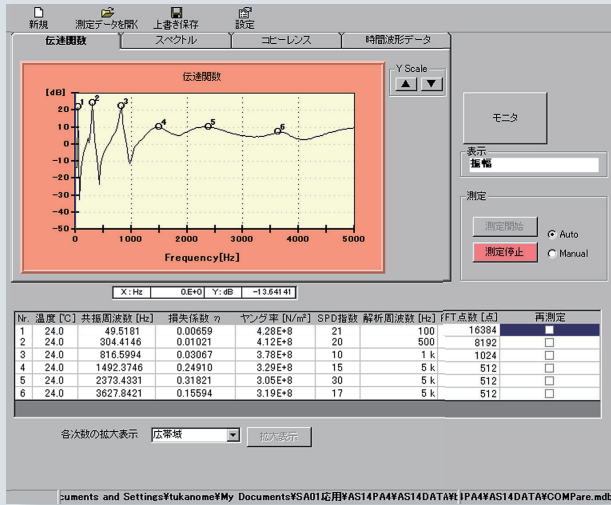
機器構成 [片持梁法]

品名	型式	使用数
4チャンネル分析処理器(SA-02SG付き)	SA-02A4	1
SA-02用コンピュータ		1
損失係数測定ソフト	AS-14PA5	1
片持梁試験器	DX-01A	1
電磁変換器	MT-03	2
プリアンプ	XH-25	1
パワーアンプ	XH-38	1
ノモグラム作成・表示ソフト		1
温湿度試験器		1

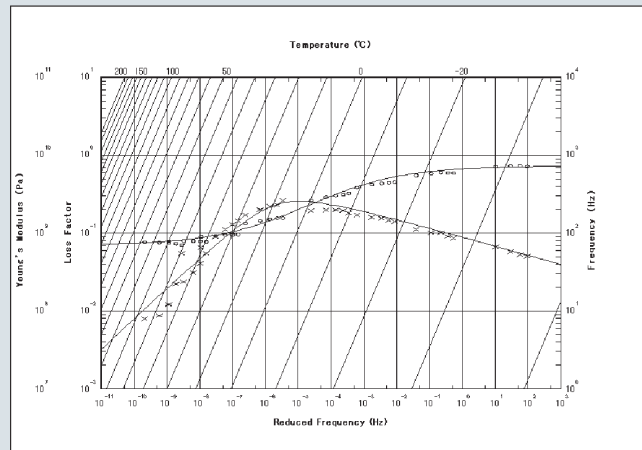
機器構成 [中央加振法]

品名	型式	使用数
4チャンネル分析処理器(SA-02SG付き)	SA-02A4	1
SA-02用コンピュータ		1
損失係数測定ソフト	AS-14PA5	1
加振装置 (加振器/パワーアンプ)	EM-1028A/ EM-1029	1
試料セッティング治具	DX-10	1
インピーダンスヘッド	PF-60A	1
コンタクトチップ	VP610400	1
マスキャンセルアンプ	XG-81B	1
ノモグラム作成・表示ソフト		1
温湿度試験器		1

測定結果例



試験片の測定 (周波数応答関数)



ノモグラム作成・表示ソフト

使用事例

自動車、家電製品、OA機器などに使用される制振鋼板、制振合金
プラスチック、ゴム、アスファルトなど

適合規格・参考文書

- JIS G 0602:1993 制振鋼板の振動減衰特性試験方法
- JIS K 7391:2008 非拘束形制振複合はりの振動減衰特性試験方法



当社は、認定基準としてISO/IEC 17025を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋評定協力機構 (APAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。当社の品質保証課は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS0197は品質保証課の認定番号です。

ISO14001 本社・東海営業所・西日本営業所 認証取得
ISO9001 本社・東海営業所・西日本営業所・九州リオン・リオンセンター 認証取得



*本カタログ掲載の会社名、商品名は一般に各社の登録商標または商標です。*本カタログ掲載の各製品のデザイン・仕様などは予告なく変更する場合があります。

技術相談受付 ☎ 0120-26-1566 当社の休日および土・日・祝日を除く 9:00~12:00 / 13:00~17:00

- 本社・営業部 〒185-8533 東京都分寺市東元町 3 丁目 20 番 41 号
TEL.042-359-7887 FAX.042-359-7458
- 西日本営業所 〒530-0001 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 5 号 横山ビル
TEL.06-6346-3671 FAX.06-6346-3673
- 東海営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2 丁目 3 番 23 号 和波ビル
TEL.052-232-0470 FAX.052-232-0458
- 九州リオン(株) 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町 5 番 18 号
TEL.092-281-5366 FAX.092-291-2847
- 上海理音科技 郵編200233 中国上海市徐匯区宜山路900号 科技産業化大樓 C区501室
有限公司 TEL.021-5423-5082 FAX.021-5423-5266

- リオンサービス 〒192-0918 東京都八王子市市衛 2 丁目 22 番 2 号
センター(株) TEL.042-632-1160 FAX.042-632-1140